

## 平成 28 年京都大学地球物理学教室同窓会（京大知球会）報告

2016年（平成28年）3月5日

京大理学部 6 号館 3階 301 号室

[参加者数 講演会：62名、総会：37名、懇親会：31名]

**公開講演会** 2016年3月5日（土）、京大理学部 6 号館 3階 301 号室

13:00 - 16:15

司会：福田洋一

13:00 **開会の挨拶** 入倉 孝次郎（会長）

本講演会は、京都大学地球物理学教室同窓会の主催で、地球惑星科学に関連する諸問題や自然災害に対する防災についての新たな知見を、同窓生だけでなく一般の方々と共有するために、公開で行っております。

講演会の案内は、科学カフェ京都の例会、京大防災研年次講演会などに加え、京都新聞（3月3日）の情報ワイドの「学ぶ」欄に掲載させていただきました。

### 【特別講演】

13:05-13:45 あなたにもできる地震予測～気象庁震度データベースを使った地震予測  
小泉 尚嗣（滋賀県立大学環境科学部環境生態学科・教授）

13:45-14:25 噴火警報レベルと日本の火山のいま  
石原 和弘（噴火予知連絡会副会長，京都大学名誉教授）

14:25-14:35 休憩

14:35-15:15 里海論  
柳 哲雄（NPO里海づくり研究会議副理事長，九州大学名誉教授）

### 【京都大学理学研究科修士論文賞（平成27年度）受賞者講演】

15:15-15:45 化学気候モデルの力学場・化学場の特徴について  
佐々木 拓也（大学院修士2回生・気象分科）

**知球会総会** 16:25 - 17:10 司会：岩崎好規(代役：諏訪 浩)

教室の近況について

林 愛明（教室主任）

同窓会報告

役員・幹事会（2015年11月14日土）報告

入倉孝次郎（詳細は別記）

総務・名簿

諏訪 浩

歴史記録	竹本 修三
その他	
議事	
会計報告	福田 洋一
会計監査報告	田中 良和
その他	
その他	

## 総会の報告と議事の要旨

### 報告

#### (1) 教室の近況について

林 愛明

固体地球物理学講座に Bogdan Dumitru ENESCU 特定准教授が H28 年 3 月 16 日付けで着任された。気象学講座の内藤陽子助教が H28 年 3 月 31 日付けで退職される予定である。H27 年度末の教室教員数は 16 名である。また、関連施設では、地球熱学研究施設の柴田智郎准教授が H28 年 4 月 1 日付けで他大学へ転出される予定である。防災研究所（協力講座）に、山下裕亮助教と宮崎真大助教が、それぞれ H27.7.1 と H27.10.1 付けで着任、浅野公之助教と王功輝助教が、それぞれ H28.2.1 と H28.3.1 付けで准教授に昇任された。また、野田博之准教授が H28.4.1 付けで着任される予定である。生存圏研究所（協力講座）所属のサンガ・ンゴイ・カザディ教授が H27.6.28 に逝去された。大学を取り巻く状況は急速に変化し、本学でも大幅な定員削減、平成 28 年度から学域・学系制度の導入をはじめとする種々の変革が進行中である。また、地球物理学分野での大学院充足率は低下しており、これら喫緊の課題に教室一丸となって取り組んでいる。

#### (2) 京都大学知球会 2015 年度役員・幹事会報告:

入倉孝次郎

日時：2015 年 11 月 14 日（土）

場所：理学 1 号館 150 号室

出席：荒木 徹、入倉孝次郎、岩崎好規、諏訪 浩、田中良和、田中寅夫、竹本修三、廣田 勇、林 愛明

### 報告事項

#### 1. 知球会関東支部会（11 月 7 日開催）の報告（詳細は別途記載）

京大東京オフィス（品川）で開催。出席はのべ 52 名。

公開講演会 「日本の自然災害 - さて、南海トラフの巨大地震は - 」尾池 和夫  
パネルディスカッション「日本の自然災害」

<司会> 谷 伸 (1976卒) GEBCO指導委員会委員長、元海上保安庁海洋情報部部長  
パネリスト

尾池 和夫 (1963卒) 京都造形芸術大学学長、第24代京都大学総長

佐藤 和秀 (1970卒) 長岡工業高等専門学校名誉教授

里村 幹夫 (1970卒) 神奈川県温泉地学研究所所長

長尾 大道 (1995卒) 東京大学地震研究所准教授

## 2. 京都大学ホームカミングディ (第10回) 2015年11月7日開催。

「心」をテーマ。同窓生(卒業生、修了生、元教職員)、教職員、学生など延べ約2,400名の参加。本学の大学院に在籍していた文化勲章受章者のドナルド・キーン コロンビア大学名誉教授による「京都大学時代に出会った人々」と題する特別記念講演。

## 3. 第1回京都大学理学研究科サイエンス倶楽部デイ 「理学の新しい芽を育む」も11月7日に開かれた。

理学最前線レポート - 博士後期課程大学院生

地球惑星科学専攻 博士後期課程3年 東野文子

「南極に残されたタイムカプセル - 岩石から読み解く大陸地下深部」

## 議事

### 1. 2015年度総会開催について

日時は3月5日(土) 16:25 - 17:10

司会は岩崎好規副会長。

特別講演は

柳 哲雄氏 里海論

小泉 尚嗣氏 地震予知・予測の到達点について

石原 和弘氏 最近の火山活動

上記の講演は一般公開とする。

修士論文賞受賞者(3名)に講演を依頼する。

今回は日程の都合で佐々木 拓也 (大学院修士2回生・気象分科)のみ。

### (3) 総務・名簿 :

諏訪 浩

・会員名簿冊子は隔年印刷し出席者に配布している。最新版を今日、会員出席者に配布した。

・会員名簿の本部原簿の整備修正はつぎのように行った。会員から、異動等の情報を総務が受け次第、随時修正している。今回は、関東支部がとりまとめた名簿データの提供を受け、本部原簿と異なるデータを一件ずつ確認しながら、より新しいデータに改めた。関東支部名簿データは、中島良一氏、牧野優子氏らが関東支部のデータと本部データをマージ(統合)したものを指す。関東支部名簿データを生かすよう、本部原簿を修正

した。

・会員名簿では、平成19年卒会員データまではよく整備されているが、20年卒以降はデータが整備されていない。大学は、卒業時点の学生の個人情報を取りまとめているが、平成20年以降、情報の取り扱いが厳格になり、学生の名簿情報が入手できなくなった。そのため空白状態となっている。近年の個人情報取り扱い変化などが影響した結果である。この状況を打破できないかとの意見を以前から頂いている。卒業時ではなく、学生、院生が在学している間にデータを揃えられないか、とのご意見も頂戴している。役員幹事会ほかで検討してゆきたい。

・これまでどおり、ご自身あるいはお知り合いの方で、同窓会名簿掲載データに変更が生じたときは更新データを総務の諏訪まで速やかにお知らせいただきたい。

・前回ご報告以降に以下の会員8名の方の訃報に接した。謹んでご冥福をお祈りしたい。

齊田 欽次、2015年2月18日逝去、海洋物理学、昭和44年卒、斎田海事事務所。

河井 晶子（旧姓 加藤）、2015年7月10日逝去、気象学、昭和47年卒、もと防災研究所教授 河井宏允氏夫人

松川 康夫、2015年5月31日逝去、海洋物理学、昭和39年卒、もと水産庁東海区水産研究所

サンガ・ンゴイ・カザディ、2015年6月28日逝去、気候環境システム学、昭和58年修士課程入学、京都大生存圏教授在任中（今回の総会で林 愛明教室主任から報告）

渡辺 邦彦、2015年9月11日逝去、第1講座（測地学）、昭和42年卒、もと京都大防災研地震予知研究センター

吉田 幸三、2015年9月または10月逝去、海洋物理学、昭和30年卒、もと（株）ジャパンテクノロジー

杉山 昭之助、2015年12月21日逝去、第4講座（応用地球物理学）、昭和29年卒、もとインドネシア石油（株）

亀谷卓也、2016年1月1日、第4講座（応用地球物理学）、昭和20年卒、(情報は今回の総会で、井川 猛氏から寄せられた)

・なお、新たに会員の訃報に接せられた場合には、情報を総務まで速やかにお寄せいただきたい。情報が通夜、葬儀の前であれば、訃報通知を会員メーリングリスト宛て送信する。

(4)歴史記録:

竹本修三

(5) 会計報告

福田 洋一

(次項の会計監査報告の後，拍手により承認)

収入の部：

2014年より繰越：	325,403
同窓会入会金 (@3000x14)：	42,000
懇親会費 (@5000x31)：	155,000
寄附	2,000
口座利子	90
小計	524,493

支出の部：

同窓会案内郵送料 (@82x177)	14,514
懇親会飲食費：	113,782
同窓会準備アルバイト (@5000x2)	10,000
記念品	8,000
入会金返金	3,000
口座税金	15
小計	149,311
次年度繰越	375,182

(6) 会計監査報告

田中 良和

平成 28 年 2 月 29 日 12 時 0 分から 12 時 30 分まで，福田会計担当役員の説明で京都大学地球物理学教室同窓会の会計監査を実施した。会計書類等はよく整理されており，会計からの報告の通りであることを確認した。